



安城市生誕。それまで45年間掲げられていた「愛知県碧海郡安城町役場」の看板にかわって、「安城市役所」の看板がみかげ石の門柱に掲示されました。

昭和27年、ラジオ普及率日本一を祝った祝賀アトラクション。当時の安城は、日本で最も文化水準の高かったまちと言えます。



市制祝賀あれこれ



昭和27年5月9日に中部小学校で市制祝賀式が行われ、その後2日間は祝賀行事が続きました。旗行列、花電車や仮装行列、写真展・工業展・美術展などの展覧会、のど自慢大会や芸者手踊り、ミス安城コンテストなど、まち中が祝賀ムードにわき返りました。



昭和34年9月26日午後9時ごろ、伊勢湾台風が襲来し、死者5人、負傷者454人、家屋全半壊2932戸、床上浸水21戸というばく大な被害をもたらしました。



昭和29年に始まった安城七夕まつり。今では「日本三大七夕まつり」として、全国から120万人を超える観光客を集めています。



安城市50年のあゆみ

昭和27年

県下13番目の市として市制施行（5月5日、面積39・95平方キロメートル、人口3万7704人）。教育委員会発足。ラジオの普及率全国一

昭和28年

安城土地改良区・安城商工会議所発足。青年大学開設

昭和29年

安城七夕まつり始まる。市内初の土地区画整理事業始まる

昭和30年

明治村和泉、榎前、石井、城ヶ入、根崎、東端の各地区及び依佐美村高棚、二本木、井杭山地区合併（4月1日、面積65・12平方キロメートル、人口5万2481人）。上水道工事認可

昭和31年

大字、字の呼称廃止。安城音頭、安城小唄制定。市立助産所開設。市勤労会館開設

昭和32年

消防団日本一。畜産日本一として市が農林大臣賞受賞

昭和33年

国民健康保険事業発足。土地改良事業始まる

昭和34年

浄水場完成。伊勢湾台風襲来



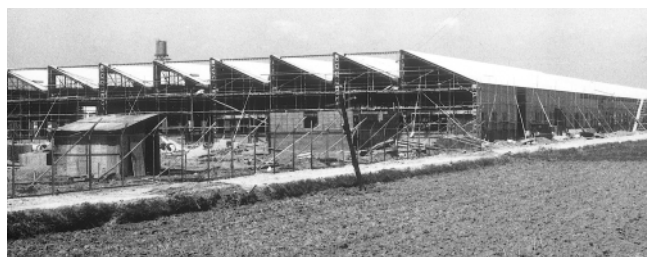
昭和42年、安城保育園に乳児保育室が完成し、20人の赤ちゃんを預かる赤ちゃん保育を始めました。



文化協会



昭和21年に発足した安城文化協会は、文化活動の母胎として活動を続け、昭和35年には、第1回市民芸術祭を2か月間行いました。市民映画祭、第1回教育展、全国有名郷土おもちゃ展、美術展など、多彩で誰にでも楽しめる内容でした。昭和43年には、第1回安城文協展を県美術館で開催しています。



昭和35年に制定された工場誘致条例。この年だけで、13工場が、その後10年ほどで50社以上が安城市に進出しました。



昭和41年、新しい庁舎が完成しました。現在の文化センターのあたりから安城公園の一角に移転（住所も現在のものに変更）しました。なお、北庁舎は昭和60年に完成しています。



昭和42年に桜井町と合併しました。市制施行当時に比べて、市域・人口とも約2倍の成長をとげました。



昭和35年

岡崎市から旧矢作地区尾崎、柿碓、橋目、宇頭茶屋、河野の5地区編入合併（1月1日、面積68・24平方キロ、人口5万6167人）。市消防署設置。工場誘致条例制定。市営プール完成。市章制定

昭和36年

東海道新幹線工事始まる

昭和37年

市制10周年。安城地下道開通。住民組合が町内会に。市内初の信号機設置

昭和38年

20農協が合併し、安城市農業協同組合が発足（事業量では全国一）。中学校でミルク給食始まる

昭和39年

農業構造改善事業始まる。新住居表示実施。東海道新幹線営業開始

昭和40年

南部給食センター・衛生センター完成。老人ホーム開所。文書配達員制度始まる

昭和41年

陸上競技場、新市庁舎（現本庁舎）完成。市内初の横断歩道橋（東栄町地内）設置

昭和42年

碧海郡桜井町合併（4月1日、面積85・67平方キロ、人口8万1106人）。図書館、青年の家（現青少年の家）完成。市民相談室設置。巡回文庫「みのり号」スタート。安城保育園で初の赤ちゃん保育始まる



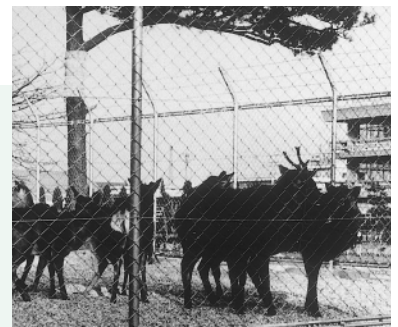
昭和33年の御幸通り

昭和46年から始まった駅前都市改造事業は、約16年の歳月を費やして完了しました。その締めくくりとしてつくられた「駅前広場デッキ」。



市制施行20周年の昭和47年、市民の愛唱歌として「市民の歌」と「七夕音頭」がそれぞれダークダックスと安部律子さんの歌でレコード化され、完成したばかりの市民会館で発表されました。なお、「安城小唄」は昭和31年に制定され、島倉千代子さんが歌っていました。

昭和46年、安城公園に完成したシカ園。幡豆郡吉良町からやって来たオス2頭とメス4頭のシカは、安城公園のマスコットとしてかわいがられました。



花と緑がいっぱい



安城市では、以前から「花いっぱい運動」が展開され、まちの美化・緑化が進められてきました。特に昭和47年以降はこの運動が盛んに行われるようになりました。それは市制20周年を記念して市の木・クロマツ、市の花・サルビアが制定されたのがきっかけです。



昭和43年

北部浄水場・北部給食センター完成。
総合計画を策定し「農・工・商がうまく調和したユニークな都市づくり」を進める

昭和44年

交通災害共済発定。南部浄水場・消防署北部出張所完成。安城市開発公社・善意銀行開設

昭和45年

中部給食センター完成

昭和46年

駅前都市改造事業始まる。安城公園にシカ園・サルの家、消防署南部出張所完成。安城市史本文編発刊。老人医療無料化

昭和47年

市制20周年。人口10万人を超える。市民憲章制定。総合運動公園・市民会館完成。市の木にクロマツ、市の花にサルビアを選定。市民の歌、七夕音頭、文学の散歩道、作手村に青少年野外センター完成

昭和48年

婦人会館・市内初の交通公園完成。老人福祉電話設置

昭和49年

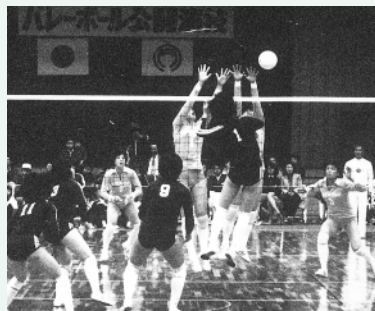
図書館増築。勤労者体育センター完成。総合運動公園にSLを設置

昭和50年

市内初の交通少年団誕生。サルビア学園開園。警察署が安城町（現横山町）へ移転。学校開放始まる。公害監視車導入。駅西駐車場完成



昭和54年、総合運動公園に鉄筋コンクリート造り4階建ての体育館が完成。開館式後のアトラクションでは、世界体操選手権大会で個人総合優勝した笠松茂選手などの演技が披露され、会場を埋めた約3000人の市民から盛んな拍手をあげました。



530運動



「自分たちの住むちは、自分たちの手で美しく」をスローガンに、「530運動連絡会」が発足したのが、昭和55年5月30日。発足時の加入団体は、子ども会、青年団体、婦人団体、老人クラブ、幼・保育園、小中学校、町内会、事業所、商店街など290団体でしたが、翌年には530団体になりました。



昭和56年、南安城駅を中心とする南北1.5km区間の名鉄西尾線高架事業が完成。6つの踏切が廃止され、周辺の交通渋滞や踏切事故が解消されました。



昭和56年に完成した文化センターのプラネタリウム。県下5番目のこの施設は、直径15mのドーム内に8500個の星を映し、四季の星座を楽しむことができます。今年4月から中学生以下は観覧無料になりました。

昭和53年、緊急出勤などの業務を集中管理し、対応できる一斉指令システム「消防救急指令装置」が、市消防本部に設置されました。



- 昭和51年 二本木北部区画整理事業始まる
- 昭和52年 明治用水緑道、秋葉公園の一部、休日急病診療所完成
- 昭和53年 秋葉プール、駅東駐車場完成。消防救急指令装置設置
- 昭和54年 市体育館、衛生センター、安祥閣、駅西立体駐車場完成。青少年愛護センター設置。桜井バイパス開通
- 昭和55年 桜井公民館、秋葉いこいの広場、農村環境改善センター完成。530運動連絡会発足
- 昭和56年 新消防庁舎、ふたば作業所、文化センター、中央公民館完成。名鉄西尾線南安城駅周辺が高架化
- 昭和57年 市制30周年。米国ハンチントンビーチ市と姉妹都市提携。窓口事務の一部オンライン化。「青少年をすこやかにくむ都市」宣言。消防署南分署完成。国鉄安城駅舎新築
- 昭和58年 茶臼山高原野外センター、北部公民館完成。勤労福祉会館改築
- 昭和59年 新幹線新駅が二本木地区に決定
- 昭和60年 市役所北庁舎、西部公民館、中央図書館完成



四半世紀に及ぶ誘致運動の結果、昭和63年3月13日に開業した新幹線三河安城駅。現在では駅周辺土地区画整理事業も進み、西三河のゲートエリアとして発展してきました。



平成6年、「安城が、あなたのボールをキャッチする」をスローガンに開催されたわかしゃち国体。多くのボランティアや団体の協力を得て、バスケットボールとソフトボール少年女子の熱戦が繰り広げられました。

平成7年、「三河万歳」が国の重要無形民俗文化財に指定されました。



御殿万歳



姉妹・友好都市



安城市は、昭和57年にアメリカ・カリフォルニア州ハンチントンビーチ市と、また昭和63年にオーストラリア・ビクトリア州ホブソンズ・ベイ市（旧アルトナ市）と姉妹都市提携をしました。

また、平成9年にデンマーク・ヴァイル州コリング市と友好都市提携をしました。

- 昭和61年
作手高原野外センター、安城駅前広場
デッキ完成
- 昭和62年
保健センター、し尿処理施設完成。北
部給食センター移転新築
- 昭和63年
作野公民館完成。新幹線三河安城駅開
業。豪州アルトナ市と姉妹都市提携
- 平成元年
高齢者生きがいセンター、デイサービ
スセンター完成。測定方法の変更によ
り市域86・01平方キロメートルとなる
- 平成2年
安祥公民館完成。衣浦東部農業共済事
務組合設立
- 平成3年
歴史博物館、東部公民館、総合福祉セ
ンター、南部公民館完成
- 平成4年
市制40周年。桜井公民館改築。堀内公
園完成
- 平成5年
ケーブルテレビKATCH開局。下水
道供用開始。二本木公民館完成
- 平成6年
教育センター、グラウンドゴルフ場完
成。豪州ホブソンズ・ベイ市と姉妹都
市提携。わかしゃち国体開催（バスケ
ットボール少年女子・ソフトボール少
年女子）
- 平成7年
市民保養事業始まる。中部公民館完成。
三河万歳が国の重要無形民俗文化財に



市制施行45周年の平成9年4月29日、安城産業文化公園「デンパーク」が開園。同年のゴールデンウィーク中に約15万4000人が来場し、色とりどりの花やイベントを楽しみました。デンパークでは、季節ごとに花を植え替え、盛りだくさんのイベントや講座などを企画しています。



花の大使・紺野美沙子さん



環境施策



平成10年10月、「地球にやさしい環境都市」宣言をし、平成12年4月には環境管理システムの国際規格であるISO14001の認証を取得するなど、率先して環境保全活動に取り組んできました。また、平成13年3月には、「環境基本計画」を策定し、環境にやさしいまちづくりを推進しています。

平成8年に開苑した丈山苑。石川丈山の生誕地である和泉町に、詩仙堂を模して建てられた本格的な庭園です。



平成13年にオープンしたスポーツセンター。温水プール、アリーナ、トレーニングルームなどが完備され、子どもからお年寄りまで利用できます。



平成8年

総合運動公園テニスコート・昭林公民館完成。安祥デイサービスセンターオープン。丈山苑開苑。あいち中央農協発足

平成9年

市制45周年。デンマークコリング市と友好都市提携。安城産業文化公園「デンパーク」開園。環境クリーンセンター、北部福祉センター完成。子育て支援センター開設。中学校全校にインターネット導入。市のホームページ開設。堀内公園にメリーゴーランド設置

平成10年

リサイクルプラザ、消防署西出張所、西部福祉センター完成。ねりんピックソフトボール交流大会。小学校全校にインターネット導入。「地球にやさしい環境都市」宣言

平成11年

総合斎苑、マーマイドパレス、社会福祉会館（ハートフルプラザ）、作野福祉センター完成

平成12年

情報提供システム運用開始。ISO14001認証取得。市内循環バス市街地線・高棚線試験運行開始

平成13年

スポーツセンター、せん定枝リサイクルプラント、ソフトボール場完成。「人にやさしい交通安全推進都市」宣言。市内循環バス北部線試験運行開始

平成14年

市制50周年